

コンクリート製公共ます補修用立管

コンクリート製公共ますの老朽化にお困りでは？

ふたの劣化

雨水・地下水の浸入

木の根の侵入

Point

既設のコンクリート製公共ますを活用するため

- ◎ 施工が簡単
- ◎ 早期復旧が可能

～ふたの更新に～

維持管理性向上、ガタつき、枠の破損、臭気漏れや不明水の解消など



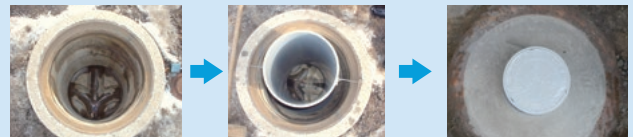
更新前

塩じふた枠設置
モルタル充填

更新後

～立上り部の更生に～

立上り部(側塊)継ぎ目からの不明水や木の根侵入の解消



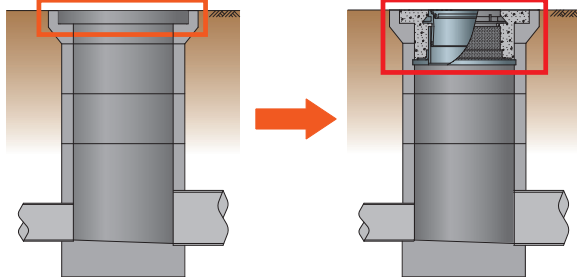
更新前

補修立管設置
モルタル充填

更新後

補修箇所まで補修用立管を挿入し、隙間に無収縮急結モルタルを充填するだけ

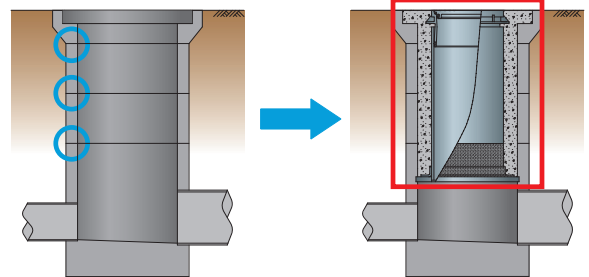
ふたの更新



更新前

更新後

立上り部の更生



更新前

更新後

製品仕様

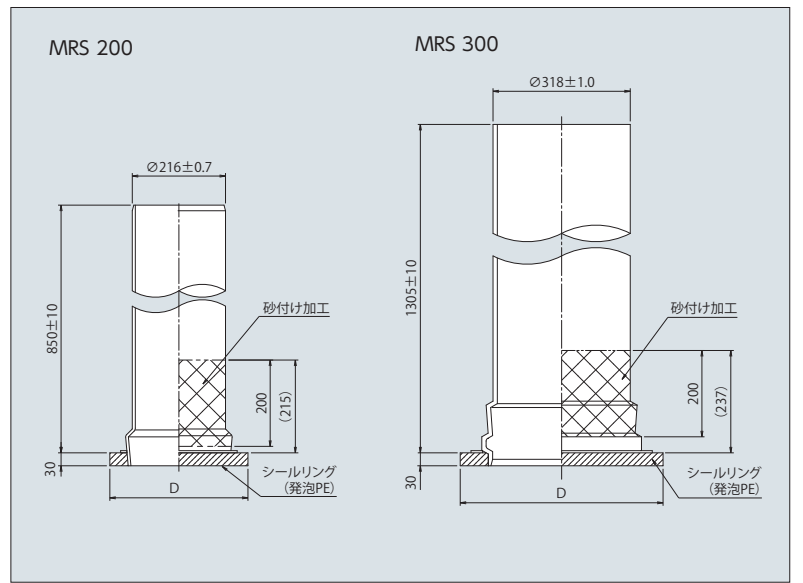
コンクリート製公共ます補修用立管

略号・サイズ	コード	Coます口径	立管口径	価格	梱包
Ⓜ MRS200 (300-CO) × 0.8	5 245350-	300	200	26,000	1
Ⓜ MRS200 (350-CO) × 0.8	5 245351-	350	200	27,000	1
Ⓜ MRS200 (400-CO) × 0.8	5 245352-	400	200	28,000	1
Ⓜ MRS300 (450-CO) × 1.3	5 245353-	450	300	32,500	1
Ⓜ MRS300 (500-CO) × 1.3	5 245354-	500	300	33,500	1

(単位:mm)

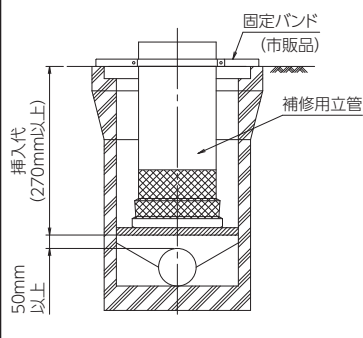
略号・サイズ	寸法	
	D	
MRS200 (300-CO) × 0.8	320+10, -0	
MRS200 (350-CO) × 0.8	370+10, -0	
MRS200 (400-CO) × 0.8	420+10, -0	
MRS300 (450-CO) × 1.3	470+10, -0	
MRS300 (500-CO) × 1.3	520+10, -0	

Ⓜマークは、受注生産品です。



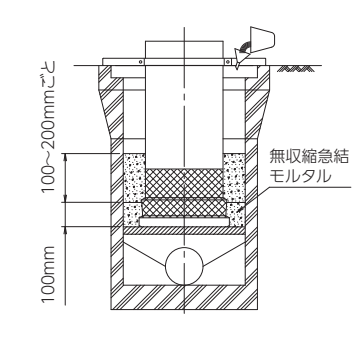
施工手順

①立管挿入、固定



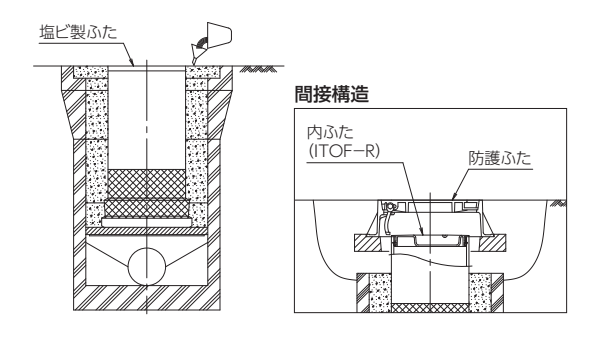
補修用立管をセットし、固定バンドで固定します。間接構造にする場合は、防護ふたの設置スペースを確保できる高さのコンクリートます塊を撤去してください。

②無収縮急結モルタルを充填



無収縮急結モルタルを隙間に流し込み固めます。

③仕上げ



養生後、固定バンドを取り外し、立管をふたの厚みを考慮してカットします。ふたをセットして無収縮急結モルタルを流し込み、養生して完了です。間接構造にする場合は内ふた・防護ふたをセットし、埋め戻して完了です。



注意事項

◆設計上のご注意

- ・コンクリートます立上がり部のズレや内面凹凸が大きい場合には、ご使用いただけないケースがあります。
- ・補修用立管の挿入代は「コンクリートますの端面から270mm以上」かつ「流出管(流入管)の管頂から50mm以上」を満たす範囲で設定してください。
- ・補修用立管とコンクリートますの隙間は無収縮急結モルタルを使用して埋めてください。

◆輸送・保管上のご注意

- ・高所からの落下、投げ捨て等による過度の衝撃を加えないでください。
- ・補修用立管のシールリング部分に曲げなどの負荷がかからないようにしてください。
- ・補修用立管は屋内で保管してください。やむを得ず屋外で保管する場合は、直射日光を避けるため熱気のこもらない方法によって保管を行ってください。

◆施工上のご注意

- ・施工手順書に従って施工してください。
- ・補修用立管の砂付加工部は切断しないでください。
- ・補修用立管を無理に挿入してシールリングが剥がれたり、破れたりしないよう注意してください。
- ・補修用立管は固定バンドなどで固定し、無収縮急結モルタルを充填してください。
- ・最初に無収縮急結モルタルを100mm程度流し込み固めてください。残りの隙間は無収縮急結モルタルを一度に流し込み、100~200mmごとに流し込み、固めてください。



アロン化成株式会社

管材事業部

管材企画グループ 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル
TEL(03)3502-1449 FAX(03)3502-1452

東京支店 TEL(03)3502-1443 FAX(03)3502-1446
大阪支店 TEL(06)6448-5125 FAX(06)6448-5193
名古屋支店 TEL(052)203-0378 FAX(052)231-2918
福岡支店 TEL(092)741-1412 FAX(092)712-2594
仙台支店 TEL(022)291-5477 FAX(022)291-5479
広島支店 TEL(082)245-7100 FAX(082)245-7106
札幌営業所 TEL(011)709-6011 FAX(011)709-6014
北陸営業所 TEL(0766)44-1565 FAX(0766)44-1598
四国営業所 TEL(0877)46-5201 FAX(0877)46-5202

お問い合わせは



コード番号が8ケタになっています。

2010年1月より、今までのコード番号に管理コードが追加され、コード番号が8ケタになっています。

No.114715 16.8.5Z.SH-1